

Heart of Tajimi
— たじみ市民討議会 2024 —

実施報告書



2024 年3月

たじみ市民討議会 実行委員会

目 次

1. はじめに	1
2. 「たじみ市民討議会 2024」について	2
2 - 1. 概要	2
2 - 2. 協定書締結	2
2 - 3. 運営組織	2
2 - 4. 実行委員会	2
2 - 5. 活動実績	2
3. 討議会の実施について	3
3 - 1. テーマ選定について	3
3 - 2. 参加者について	4
3 - 3. 謝礼について	4
3 - 4. 討議の方法	4
3 - 5. 情報提供について	4
3 - 6. 話し合いのルール	5
4. 討議会の結果と市民からの提言	6
5. 『たじみ市民討議会 2024』の検証	8
6. 『たじみ市民討議会』の今後の取り組み	8
6 - 1. 参加者の減少	8
6 - 2. 今後の継続性について	8
6 - 3. 事後のフォロー	8
7. 協賛者ご挨拶	9
8. 終わりに	10
資料 1. 話し合いシート	11～22
資料 2. 参加者アンケート	23

1. はじめに

本報告書は「たじみ市民討議会実行委員会」が多治見市と協定を締結し、(一社)多治見青年会議所の協力を得て実施した「Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2023ー」について、報告するものである。

2024年の「たじみ市民討議会」は7月21日に多治見市民26人の参加を得て実施された。

基本コンセプト『住みやすいまち たじみ』を掲げ、【多治見の魅力を効果的にSNS発信するためにはどうすればいいのか】をゴールとして、

- ① 多治見の好きなところはどこですか？
- ② あなたなら①のポイントをSNSでどう発信しますか？
- ③ 多治見の既存のSNSを通じて、市民同士や市と市民との繋がりを深めたいと考えています。どのようにSNSを活用したらよいですか？
- ④ 30年後、どんな多治見だったらよいですか？

この4つのテーマについて話し合いを行って頂いた。さらにその結果を検証し、集計・分析をして多治見市に対して提言を行った。



「たじみ市民討議会 2024」実行委員会

2. 「たじみ市民討議会 2024」について

2-1 概要

『たじみ市民討議会』はドイツで提唱された『プラーヌンクスツェレ』を参考に、2009年に（一社）多治見青年会議所が、「Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2009ー」と題して、第1回『たじみ市民討議会』を企画立案し、以後2012年に市民による実行委員会を立ち上げ、本年に至る。

『たじみ市民討議会』は広く市民の「声なき声」を集約すべく18歳以上の多治見市民を対象に、住民基本台帳を基に無作為抽出された3,000人に対して参加依頼書を送付し、参加を受諾された市民により、年ごとに設定したテーマに沿って話し合いを行って頂く。そこで出た意見を集約・合意形成した結果を市政に提言を行う市民活動である。

2-2 協定書締結

『たじみ市民討議会』を実施するにあたり、実行委員会と多治見市との間で『協定書』を締結した。協定の内容は、①実施の目的、②相互の協働の精神に基づく原則、③役割と責務などを明確にし、確認するものである。



協定書締結の様子

2-3 運営組織

実行委員会は市民委員10人で次のように組織した。

- ・実行委員会委員長（1人）、副委員長（2人）、顧問（1人）で運営し、会を代表する。
- ・運営にあたって必要に応じて運営委員（若干名）を招集して運営方法を協議した。
- ・オブザーバーとして多治見市企画部秘書広報課の職員にも参加して頂いた。

2-4 実行委員会

実行委員会は、都度議事テーマを決め、1～2回／月の頻度で開催した。

活動の記録は、次項2-5『活動実績』に記す。

2-5 今年度の活動実績

新型コロナウイルスの影響で中止としていたが、2022年6月に2023年の開催の決定意向を多治見市に伝え再開。今年度もスタッフの負担軽減を考え、委員会も会議だけではなく、ZOOMやLINEなどを利用して開催している。

- 第 1 回 顔合わせ
- 第 2 回 活動方針について
- 第 3 回 討議テーマについて（ 3 月）
- 第 4 回 討議小テーマ 4 つの決定（ 4 月）
- 第 5 回 討議方法の再決定（ 5 月）
- 第 6 回 案内状封筒詰め作業
- 『協定書』締結（ 5 月 17 日）
- 第 7 回 情報提供について（情報提供者の選定）
- 第 8 回 情報提供について（情報提供の内容の検討）
- 第 9 回 情報提供について（情報提供の内容の修正）
- 会場設営（ 7 月 20 日）
- 『たじみ市民討議会』開催（ 7 月 21 日）
- 第 10 回 提言書の策定
- 第 11 回 提言書の策定
- 第 12 回 提言書の策定
- 第 13 回 提言書の策定・議決
- 『中間報告会』（ 9 月 30 日）
- 『提言書』提出（10 月 9 日）

3. 討議会の実施について

『たじみ市民討議会』は以下の要領で実施した。

討議会は 4～6 人の単位で 6 グループを作り、4 テーマについて参加者同士で意見交換をする。また、2 テーマが終わったらメンバーの入れ替えを行う。

3-1 テーマ選定について

テーマ選定にあたっては、市民の共通の関心事で市政との協働が可能なものとすることを意識して議論を重ねた。また、市民としてやるべきこと、できる事が明確にイメージでき、市政に対しては具体的な提言ができる事を念頭に置いている。

市民討議会は、コンセプトとして『住みやすいまち たじみ』と大きなテーマを掲げている。

2024 年のテーマは、今までも何度も議題には出てきていた広報について考え、みんなが楽しく考えられる内容、市と協力できる内容ということから「広報の発信」に焦点を当てた討議テーマを選定した。

【大テーマ】 住みやすいまち たじみ

【中テーマ】 多治見の魅力を発信 みんなでデザインしよう。

【討議テーマ】

- ⑤ 多治見の好きなところはどこですか？
- ⑥ あなたなら①のポイントを SNS でどう発信しますか？
- ⑦ 多治見の既存の SNS を通じて、市民同士や市と市民との繋がりを深めたいと考えています。どのように SNS を活用したらよいですか？
- ⑧ 30 年後、どんな多治見だったらよいですか？

3 - 2 参加者について

参加者は多治見市で管理される『住民基本台帳』から 18 歳以上の市民を無作為に抽出して 3,000 人に『参加依頼書』を郵送した。今回より、返答を今までの郵送に加えて、ネットでの回答可能とした。63 人から参加の回答を得た。当日の欠席も考え 40 名に決定通知を返送した。当日の参加者は 26 人であった。

3 - 3 謝礼について

参加者に対しては、全ての討議に参加を条件に 4,000 円の『謝礼』をした。単に『謝礼』と言うだけでなく、各自の発言には責任を持って頂くという意味合いがあり事前説明で確認をした。

3 - 4 討議の方法

討議は次のように行った。

[グループ討議]

話し合いは、実行委員が補助係（1 人／グループ）としてサポート。進行係は参加者が行い自由な話し合いを行った。それぞれの意見は付箋に記載して、準備した模造紙に貼り付けた。

[まとめ]

話し合いの結果は「まとめ 1」「まとめ 2」「まとめ 3」として模造紙に記入して合意形成をする。「残したい意見」があれば併記する。

[発表]

まとめた意見の内容をグループごとに発表を行う。全てのグループの模造紙を一覧として張り出す。

[投票]

各グループでまとめた全グループの意見は、参加者全員が各々賛同する「まとめ」、「残したい意見」に投票する。

3 - 5 情報提供について

グループ討議に先立ち専門家、先進活動グループなどによる『情報提供』を行う。

討議テーマ①②③に対して、『多治見市が現在行っている情報発信』を知ってもらうために、多治見市秘書広報課に説明をしていただく。多治見市が現在行っている情報発信の意味や方法を知ってもらい、課題を伝えてもらうことで討議がより具体的になり言葉をだしやすくなっていた。

討議テーマ④は、多治見の将来を考えてもらうことで、さらに多治見に関心を持ってもらうこと、現状の課題を探るためのテーマでもある。また、自分たちが動けば、まちが変わることも可能であると気づいてもらうようにきっかけを水野委員長が伝えた。

3 - 6 話し合いのルール

話し合いのルールとして、次のことを確認し合った。

- ・参加者は親しみを込めて「さんづけ」で呼び合う
- ・全員が発言する（発言できるよう配慮する）
- ・他の意見を全否定しない
- ・テーマについて結論を出す
- ・自由に意見を出す
- ・アイデアの実施、実行の可否にこだわらない
- ・他の意見を参考にしても良い

4. 討議会の結果と市民からの提言

討議会の結果は、模造紙に記載された「まとめ」意見を基に精査し、投票の多寡を考慮して『提言書(案)』を策定。中間報告会で参加市民の承認を得て『提言書』として次のように作成し、2024年10月6日に高木多治見市長に手渡した。

当日参加された市民の方も参加された。



提言書提出式の様子

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2024ー」に関する提言書

令和6年7月21日に開催されました「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2024ー」に於いて討議された意見を以下のとおり提言いたします。

大テーマ『住みやすいまち たじみ』

中テーマ『多治見の魅力を発信 みんなでデザインしよう』

討議テーマ1 多治見の好きなところはどこですか？

討議テーマ2 あなたなら①のポイントをSNSでどう発信しますか？

討議テーマ3 多治見市の既存のSNSを通じて、市民同士や市と市民の繋がりを深めたいと考えています。どのようにSNSを活用したらよいですか？

討議テーマ4 30年後、どんな多治見だったらよいですか？

これらのテーマをもとに討議をした結果から、多治見の魅力を発信するために次のとおり提言いたします。

現在、多治見市に関するSNSや情報源は多く存在していますが、その中から自分が求める情報を探し出すことが難しいため、情報を集約し、簡単にアクセスできる仕組みを望みます。

- ① 多治見市に関する様々な情報を一元化するプラットフォームの構築
- ② 集約したプラットフォームへの入口として、手軽に掲示できる二次元コードの活用
- ③ うながっぱやAI市長などを活用した、親しみやすく分かりやすい情報の発信

市が運営しているSNSは市からの一方通行となっているため、市民は市と双方向のコミュニケーションがとれるSNSを望みます。

- ① 市民が投稿した意見に対し、市が応答できる環境
- ② 市の担当者や市長に直接質問できるオンラインによる意見交換会

また、討議の中から出た意見として、私たち多治見市民が思っていることをつぎのとおりに情報提供いたします。

私たち多治見市民は多治見を、自然豊かで生活しやすい環境が整った地域であり、文化や食、コミュニティにも魅力がある街だと思っています。

自然と環境

自然が豊かで緑が多い
静かな公園や川沿いのウォーキング道
近くに山があり野生動物がいる
災害が少なく安全な地域

交通とアクセス

名古屋へのアクセスが非常に便利
駅周辺に集約されていて、交通の便が良い
高速道路や公共交通機関の整備が進んでいる

文化と歴史

美濃焼や陶磁器が有名で陶器産業が盛んな地域
永保寺を始めとする文化財や歴史的な建物が多い
地域のイベントや祭りが豊富で、
市民の参加が活発

コミュニティ

近所付き合いや地域交流が盛ん
市民が街に愛着を持ち地域貢献する意識が強い
子供たちにやさしい環境で、
支援センターが充実している

食文化

美味しい食べ物が多く隠れた名店や特産品が豊富
うなぎやラーメンなどの当地グルメが人気
ケーキ屋やカフェも多く、食の選択肢が多様

住みやすさ

コンパクトで便利な町
治安が良く、親切な人が多い
医療施設や教育機関が整っていて、
子育てしやすい

独自の特徴

ゆるキャラ「うながっぱ」の存在
個性的な商店街や楽しいイベントが豊富
暑さ対策に力を入れており、
ミストなどの施策がある

そして、市と市民が一体となって、多治見の未来を楽しく創造することを期待します。

子育て支援の充実

子供が川や公園でのびのび遊べる環境
出産から成人までの一貫した、
子育て支援の充実

地域の魅力発信

レトロな街並みを残しながら、
それを活かした魅力の発信
「うながっパーク」の設立や、アニメの全国的な
イベントで来訪者を増やし経済を活性化する

地域活性化と企業誘致

企業誘致と税制優遇を通じて、
多治見市を日本一の元気な都市にする

住みやすい環境

子供が遊べる場所や介護サービスが充実し、
整備された自然環境と治安の良い街
災害に強く、空き家ゼロを目指す

多様性と共生の促進

障害者に優しく、住民同士が知り合いで
コミュニケーションが豊かな街
進化した町内会システムにより、
公平な負担で文化と伝統を維持する

人材育成促進

地域を担う人材や政治行政を支える人材を
育成する学校の設立

令和6年10月9日
たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 水野 智恵子

5. 『たじみ市民討議会 2024』の検証

～たじみ市民討議会の有用性～

作年度のテーマは「子どもの夢を叶えるために」で、当初参加申し込みが 63 人と市民の関心の高さが窺える。そして、今年は、「多治見の魅力の発信方法」であったが、参加の申し込みが 80 人と大きく増えている。SNS の内容であっても年齢の高い方の参加希望もあり興味深かった。

市が主催する討論などの集まりに参加したことがない市民が 78.4%も参加していることから、サイレント・マジョリティの意見を取り上げることができていると思われる。また参加者アンケートから、今回参加したことにより、多治見市の課題や取り組みを初めて認識した、との声も聞かれ、市民討議会の開催意義はあったと思われる。

6. 『たじみ市民討議会』の今後の取り組み

6-1 参加者の数

昨年同様、当日の欠席者が 10 名。新型コロナウイルスの影響で気軽に欠席ができるようになったのではないかと考える。実際に、不安なので欠席の意向を伝えられた参加者もあった。数年は、当日の出欠は 10 人前後の変更があると考え対応していく。

たじみ市民討議会の運営スタッフも多くはないが、参加した市民の方がスタッフに加入した。これはとても意味のあることである。1 人でも多治見市に興味をもってもらうことが「たじみ市民討議会」の存在価値の 1 つでもあり、これも 1 つの成功と言えるだろう。

また、行政に市民の『声』として『提言』を行う討議会としては無作為抽出による参加者は、約 7 万人の対象者の 0.05% (35 人) 以上の参加が望ましく、実行委員会として SNS や広報紙、ラジオなどの媒体を最大限活用し、今後も行政と協力して PR に注力したい。

6-2 今後の継続性について

現在、実行委員会は 10 人で運営されているが、ボランティアであるため入退会は任意である。この活動を継承し継続していくため、今年は参加者にハガキにて通知を行った。

今後も、引き続きスタッフを募集していく。

6-3 事後のフォロー

参加者に対しては『中間報告会』を設けて、『提言書（案）』を提示し、承認を得て『提言書』としている。また、多治見市のホームページには逐次『提言』の内容と『提言』に対する市政の取り組みを開示して頂いている。より多くの参加者にモチベーションを維持して頂けるよう、事後フォローについて検討する。

7. 協賛者ご挨拶

2009年多治見青年会議所が主導しスタートした「たじみ市民討議会」も新型コロナウイルスによる中止期間を抜け、本年度も無事終了することができました。誠にありがとうございました。会議を支えてくださっている実行委員会の皆様はもちろん、関係諸団体、そしてご参加賜りました市民の皆様におかれましては、我々が住むこの多治見のため貴重なお時間、ご意見を頂戴できたこと、重ねてになりますが、心から感謝申し上げます。

現在は市民主体で出来上がった実行委員会の皆様が本会議を主導し、多治見青年会議所や多治見市役所が協力するという体制になっていますが、市民の声、社会の声を行政に届け、「市民のまちづくりへの参画意識を高めたい」という思いで立ち上がった本会議は、価値観の多様化や情報技術の発展など目まぐるしく社会情勢が変わる昨今において、ますます存在の重要性が高なっていると感じます。

市民一人ひとりが自らも市政に参加できる、まちをより良いものに変えていけるのだという当事者意識をもち、住み暮らすまちを愛し、そんな想いを次の世代へつないでいくことが「明るい豊かな社会の実現」への一歩になると信じています。一人ひとりの力は小さくても皆が手と手をつなぎ、互いを信じ突き進めば必ず大きな力となります。そんなまちを想う心が、まちに広がり、人々の笑顔を創っていくのだと信じています。

「市民の意見を聞く」ということは、言うは易し、やるは難しです。どんなに行政や政治家が主体で発信したところで市民がそれを聞き入れなければ何の意味もありません。しかし多治見市には市民討議会という市民が主体となったこの会議があります。自分が住むまちを他人に任せず自分事として皆で創り上げていこうとする志高き人たちが多いこのまちでともに暮らし活動できることを誇りに思います。

むすびに、「たじみ市民討議会」が現在そして未来の笑顔を創り、誰一人取り残さない優しいまちを創っていくことを願い、そこに参加される皆様に敬意と感謝を申し上げ、略儀ながらご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人多治見青年会議所

2024 年理事長 三和義幸

8. 終わりに

たじみ市民討議会 2023 に引き続き、今年度も委員長をとして感謝を申し上げます。

今年は、今まで、テーマを決める時に必ず出てくる話題「たじみの広報について」を取り上げました。市役所さんがたくさんの工夫や取り組みをしていることを知っていたので、なかなか最終的にテーマとしてとり上げることが難しく避けていました。ただ、情報を発信する大事な内容です。そのため、今年はテーマの形式を変更し、意見が出やすいようにしました。

例えば、テーマごとに時間を区切って行っていた討議をテーマ①と②をまとめて行ったり、提言のための討議はなく、意見を出してもらうための討議に変更したり、時間配分の変更をしました。また、今後の参考テーマを楽しく出してもらえるように文章を作成もしました。

たじみ市民討議会は、行政ではなく市民が主催で運営をしています。型にはまることなく、その時に一番良いという形に変更も可能です。それが魅力であり、より市民の方から意見をもらえると考えています。

毎年ですが、討議当日までは不安があります。意見を出してくれるのか、提言になるような内容なのかなど、自分たちが意見を言えないからこそ丁寧に作り出した場。それでも、どう進んでいくのかは当日しかわからない。不安でもあり楽しみでもあります。

そして、むかえる当日。スタートすれば市民のみなさまの力を信じることができます。しかし、すぐに言葉が出てこないグループもあります。そんな時は、運営スタッフが中に入り一緒に考えて意見を促す。これも同じ市民同士だからできることです。これが行政のスタッフが入ると一気にお願ひムードになってしまうことでしょう。だからこそ、市民討議会が市民主催であることがとても重要だと考えています。

また、参加された方の感想を聞くと、「課題が明確になって解決意識が出た」「会ったことのない人と話すことで多治見のことをより知れた」「多治見が頑張っていることを知って、私も頑張りたい！」など多治見のことを積極的に考えるようになったと良い変化の言葉をたくさんもらえました。

私は、2009 年より委員会に参加して、翌年からスタッフとして運営に携わってきました。これだけの長い間参加することができたのは、「たじみ市民討議会」の意義を深く感じ楽しく感じることができたからです。テーマの内容より、市民1人1人が考えていったら問題解決のスピードは速くなるだろう、一緒に考えてもらうことが大事だと思って活動をしてきました。今後も続けていく予定です。

多治見市役所さん、多治見青年会議所さん、そして参加してくださった市民の皆さん。みなさんの力があって今年の成功につながりました。いつも本当にありがとうございます。

たじみ市民討議会 2024 実行委員長
水野智恵子

資料 1. 話し合いシート

参加者を5～6人の単位で7グループを編成して、4つの討議テーマについて付箋に意見を書き出して頂き、グループの意見「まとめ」として発表して頂いた。良いと思う意見に投票し、多い順に記している。

討議テーマ1 多治見の好きなところはどこですか？

B グループのまとめ意見

1. 歴史があり、古い文化が残る町
 2. 自然が豊かであるが、都会や他地域へのアクセスが良い
 3. 隠れた名店が多い（飲食店）
- 残したい意見 各地域でイベントやお祭りがたくさんある

C グループのまとめ意見

1. 自然が豊か（陶彩の森等）
 2. おいしい食べ物多い（うなぎ等）
 3. バランスのとれた街
- 残したい意見 歴史が深い街

D グループのまとめ意見

1. 美濃焼に関する人、物、建物等の文化が残っている
 2. うなぎを始めアピールできる食がいっぱいある
 3. 交通が便利でありながら、自然が豊かで暮らしやすい
- 残したい意見 国宝がある街

A グループで出た意見(付箋)

- ・自然がいっぱい 緑がいっぱい
- ・程よく栄えていて、名古屋へのアクセスが便利
- ・都市部へのアクセスが良い
- ・うながっぱのSNSがフレンドリー
- ・ご近所づきあいが多い
- ・美濃焼が有名
- ・陶磁器がいっぱい売ってる
- ・栗のお菓子
- ・ゴルフ場
- ・市民が作るイベントが多い
- ・治安がいい 優しい人が多い
- ・暮らし 安全 犯罪
- ・公園が静か
- ・静か（密度が丁度良い）
- ・川沿いの歩道でウォーキングできる
- ・学校病院がまとまっていて便利（近くにある）
- ・個を大事にしている人が多い気がする
- ・好き うながっぱ あちこちそっとたくさんいる
- ・作家にやさしい（個性を受け入れてくれる、発表の場がある）



- ・景色 山 川 自然 サクラ
- ・くらしやすい、コンパクト、アクセス便利（外向、中向）
- ・食べ物がおいしい
- ・楽しい 虎溪用水広場
- ・子どもにやさしい
- ・すぐ近くに自然がある
- ・永保寺や修道院など他にない文化財がある
- ・街の事が好きな市民が多い
- ・個性的で楽しい店主のいる店が多い
- ・痛車有名 ピンクの車
- ・きぐるみの貸出可
- ・商店街が個性的
- ・おりべストリート 商店街
- ・暑さ対策 やね ミスト 駅北まわり
- ・楽しいイベントが多い サイズがほどよい
- ・市長が若い
- ・WRCが近い（場所）
- ・駅周辺に集約されてる
- ・地元の方との交流がある（小学校で）
- ・暑い！！→知名度が高い

B グループで出た意見(付箋)

- ・陶器が有名な所
- ・橋から見える景色 朝焼け、夕景などお散歩がここちいい
- ・道を歩いていると声をかけてくれる人が多くて、人があったかい
- ・名古屋に行きやすい！！
- ・織部ストリート 歴史の感じられる建物、街並み
- ・のんびりした雰囲気
- ・山や自然が多い所

- ・おいしい食べ物屋さんが多い
- ・隠れたおいしい食べ物屋さんが多い
- ・災害が少ない
- ・都会でもなくいなか過ぎでもない
- ・観光地の出発点としていい場所
- ・修道院のライトアップ
- ・イベント（祭り）が多い
- ・永保寺 紅葉がきれい
- ・他地域へのアクセスがよい
- ・イオン・アウトレットが近い
- ・スポーツ施設が多い所がよい

C グループで出た意見(付箋)

- ・名古屋に近い 交通の便が良い
- ・岐阜の中でも発展している
- ・あつさの全国知名度ある
- ・うながっぱ
- ・陶磁器製造が盛んなところ
- ・ほどほどの田舎であること
- ・物価安い
- ・SNS映え
- ・多治見国長（鎌倉時代）
- ・タイルミュージアム
- ・スーパーが多い（オークワ、バロー、ゲンキー、ロピア）
- ・災害が少ない
- ・永保寺（鎌倉時代）（室町時代）
- ・歴史が深い街
- ・自然が豊かな田えん風景
- ・陶彩の道（径） 東濃鉄道（笠原鉄道）のあとち
- ・北小木のホテル
- ・甘原のいちご狩り
- ・大原川のヌートリア
- ・マレットゴルフの華立
- ・ローカル線 太多線
- ・深山の森
- ・野生動物
- ・ラーメン美味しい店多い
- ・中華天国（カイコー飯）
- ・たじみそやきそば
- ・たじみあられ
- ・（香露）コロうどん
- ・ケーキ シバタ
- ・うなぎ
- ・カフェ、純喫茶（昔ながらの）
- ・陶磁器産業や気候に合った独自の名物料理

D グループで出た意見(付箋)

- ・世界チャンピオン（ボクシング）がいる
- ・国宝 永保寺
- ・陶器で人間国宝の方がいる
- ・古いもの 新しいもの
- ・オリベストリート 昭和レトロ
- ・文化財 西浦庭園
- ・しゃべれる図書館がある
- ・21世紀枠で春の甲子園に出た
- ・高校が四つある
- ・高校のスポーツが強い ソフトボール
- ・水遊びができる公園がある
- ・21世紀枠で春高校甲子園出場
- ・三の倉地球村がある
- ・天文台あります（プラネタリウム）
- ・多治見がモデルのアニメがある
- ・うながっぱのキャラがかわいい
- ・ゆるキャラでうろう（やなせたかし）
- ・あついうながっぱのうちわがもらえる
- ・中学校も給食がある！
- ・救命講習を10人に1名が受講している町は他にない
- ・修道院 うなぎ
- ・食べ物 シェ・シバタのようなブランドもある
- ・うなぎ屋さんが多い
- ・うなぎ
- ・B級グランプリの焼きそば
- ・うながっぱのどら焼き
- ・じまんやき駅前（火水休み）
- ・姫のコロッケ屋さんおいしい
- ・おいしいお酒 三千盛がある
- ・とうきのまち
- ・とうきがやける
- ・えきの風りん
- ・駅で下りたとき風鈴にいやされる
- ・タイルは笠原日本一
- ・ステキな器が安くかえる！
- ・学校でとうきが作れる
- ・美術館が多い
- ・いろんなところにとうきがある
- ・カヤブキ屋根とか彫刻が有名（多度神社）
- ・タイル工事の補助がある
- ・お店の駐車場が広い
- ・みどりが（山）多い
- ・ぎおんまつり（7月）お盆
- ・盆踊りの行事が残っている
- ・花火が見事
- ・多治見指定の神社がある（多度神社）
- ・人間が優しい

- ・ほっとする（大阪から帰る）
- ・ディーゼル電車が走っている
- ・多→名古屋38分行ける
- ・特急しなのが止まる
- ・良く働く
- ・お庭を見せてくれるところがある
- ・陶彩の径にウグイスが鳴いている（鳥が多い）
- ・東鉄の廃線跡のサイクリングロードが気持ちいい（陶彩の径）
- ・終点だから寝過ごさない
- ・交通の便が良い
- ・電車が始発
- ・中心に川が流れている
- ・紅葉がり（お寺）
- ・京都みたいといわれた
- ・静かな住宅地

E グループで出た意見(付箋)

- ・夜の車の少なさ
- ・名古屋行くのに以外近い
- ・サウナが良い風呂がある（天光の湯）
- ・多治見図書館
- ・ほどほどにひととおりのものがそろっている
- ・病院 N I C Uある
- ・交通の便が良い（名古屋近い）
- ・結婚相談所 シェリさんの対応が良い
- ・生まれ育ったところだから
- ・待機児童0
- ・立地が便利 名古屋に近い
- ・バローホール（コンサートができる）
- ・有名人の出身地
- ・オオバンヤキ うまい
- ・うどん す奈は
- ・ラーメン屋（麺亭まきた）
- ・シェ・シバタ
- ・駅前キッチンカー
- ・パン屋多い
- ・やぶれ傘
- ・焼肉コトリ最高！！
- ・市長が若い
- ・意匠研究所
- ・学校に窯がある
- ・アニメの整地
- ・ゆるキャラがいる
- ・暑い日本一
- ・修道院
- ・永保寺

- ・トウキマツリ
- ・陶磁器産業 ステキな器が多い
- ・古田織部
- ・三千盛
- ・古虎溪周辺の紅葉

F グループで出た意見(付箋)

- ・子育て施設が多い！！（対こども人口比）
- ・子どもたちが優秀
- ・支援センターが充実している
- ・高速バス←→栄／名古屋
- ・道路の整備をしっかりとやっている 公共事業に力を入
れてる
- ・バイパスが気持ちいい
- ・日本の中心
- ・医療施設が多い
- ・小児科連携
- ・小児科が多い
- ・病院の先生がやさしい
- ・名古屋含め交通アクセスが良い
- ・車を使えばどの方向も行ける
- ・名古屋のベッドタウンとして優秀
- ・あつこお姉さんがきた
- ・やす福がある
- ・やくも（やくならマグカップも）で活性化してる
- ・焼き物に関する施設が多い
- ・ドラッグストアが多い
- ・うながっぱがいる
- ・高速道路が便利
- ・交通の便が良い
- ・かんじょう交差点ができた
- ・織部焼
- ・ディーラーが多い
- ・光岡がある
- ・小学生が道路を渡るときの先生の見回りがよい
- ・シャトレーズがある
- ・おしゃれカフェ
- ・ノスタルジックなかわいいお店
- ・地元愛のつよい小さな名店（Kさん、あけわさん）
- ・おいしいケーキ屋さんが多い
- ・多治見場所があった
- ・スーパーが多い
- ・バローが新しくなる
- ・ロピア参入！
- ・様々な大きさのお店
- ・何が食べたくても食べに行ける
- ・和がし屋さんがある（どらやき）
- ・みそおでん 鶏ちゃん ホルモン

- ・行政がまとも
- ・企業誘致に積極的
- ・多治見職員は優秀
- ・レスポンス早い
- ・しっかり対応し、たらいまわししない
- ・警察が多い（治安良い）
- ・駅前開発に積極的
- ・子供向けイベントが多い
- ・花火大会がある
- ・起業者にやさしい 小さな会社がよく立ち上がる
- ・アマゾン倉庫がある
- ・勢いのある地区がひびいて活性化
- ・日本ガイシ
- ・TOYOTAサービスセンター
- ・近隣市町村と仲良くできてる
- ・災害が少ない安全な土地 工場・家を建てるに最適
- ・区画整理力（都市計画）がかなりある（他市町村と比）
- ・新しい団地ができた（とうと）
- ・多治見国長
- ・古田織部と千利休 トラピスチヌ（修道院）
- ・多治見駅便利
- ・パン屋多い
- ・市の名前の読みずらさがアピールしやすい
- ・場所によっては土地代が安い

討議テーマ 2 あなたなら①のポイントを SNS でどう発信しますか？

A グループのまとめ意見

1. 「うながっぱ」がインフルエンサー（18）
2. 体験型で情報（クーポン）発信。（6）
3. クーポン等でリポスト、共有、フォロワーアップ、街中タイルQRで拡散（10）
魅力ポイント、商店街情報、かう、作家情報、たべる、イベント、修道・寺

B グループのまとめ意見

1. インスタをあげる際、ハッシュタグや位置情報などのお店の情報を付ける（4）
 2. 写真映えするように撮る（1）
 3. XやTIKTOKなど色んなコンテンツを使う（2）
- 残したい意見 SNSを発信する側の勉強会が必要（4）

C グループのまとめ意見

1. 影響力のある人に発信してもらう（9）
2. 市民からの情報発信力を高める（ポイント制等）（4）
3. 既存のSNS以外の他のSNSを新規作成・活用す

る（TIKTOK、Vチューバー等）（1）

残したい意見 市がSNSでお題を出して、市民が#（ハッシュタグ）で回答する（ある種の大喜利？）（8）

D グループのまとめ意見

1. 広く誰でも使えるように、SNSの理解度を高めるところから始める（6）
2. まとめ2 すぐにアクセスできるようにQRコードなどを目につく場所を考える（13）
3. 誰が見ても興味をそえられるような動画を配信する（1）

残したい意見 若い市長からの発信（8）

E グループのまとめ意見

1. 多治見のご飯を発信～カテゴライズして発信～（インスタ）（7）
2. 多治見の観光について発信（インスタ）（0）
3. 多治見市民向け有益情報発信（LINE）（6）

F グループのまとめ意見

1. 市民生活向上のためリアルタイム情報基盤を整備する（病院の待ち時間、児童館空き状況イベントなど）（21）
 2. 歴史と自然が織りなす多治見の魅力を発信し、聖地巡礼やワーケーションを推進する（12）
 3. 企業誘致のため、学校との連携強化や情報発信の強化、インセンティブの検討を行う（4）
- 残したい意見 うながっぱをもっと活用し、市の魅力を効果的に発信する（8）

A グループで出た意見(付箋)

- ・多治見の自然散歩動画をYOUTUBEに上げる又はYOUTUBERに上げてもらう
- ・修道院で修行している人の生活をYOUTUBEにアップする
- ・永保寺の生活をInstagramで発信する
- ・TIKTOK うながっぱポイントシリーズ
- ・YOUTUBEで作家さん取材して作る様子や思いを発信
- ・公園情報おまとめ
- ・街の人取材していろんな思いや考えを発信する
- ・insta 景色、自然、市民の声、四季シリーズ
- ・各ジャンルの有名配信者 ジョギング、食べ歩き
- ・市内イベント話題を網らして発信
- ・市内の店や個人のSNSをMAP上に落とし込んで情報収集しやすくする
- ・共有 リポストしてもらえるような発信（拡散力）
- ・体験動画 買う、食べるなんでも
- ・ウナガッパ YOUTUBERになる

- ・とにかく”映え”
- ・お得情報割引
- ・商店街紹介

B グループで出た意見(付箋)

- ・インスタで写真をのせる
- ・インスタでハッシュタグやタグ付けして場所を伝える
- ・インスタの位置情報を増やす
- ・ショートやストーリーで現状をUP
- ・お店の公式ラインインスタをつくる！
- ・フォロワーイベント プレゼント企画
- ・グルメ発掘サイトでみんなで掘りおこし
- ・VRで歴史と街並みを体験してもらう
- ・高木市長が YOUTUBE で定期配信
- ・市長がキャラとなり、今日のスポット、ランチ等あげる
- ・Xで行った場所をポスト！！
- ・TIKTOK で紹介動画

C グループで出た意見(付箋)

- ・ティックトック
- ・ショート動画
- ・Vチューバー
- ・LINE公式（多治見市）
- ・#つける
- ・定点観測（開花状況など）
- ・市民からの情報提供 ポイント制
- ・おりべをLINEに取り込む
- ・写真
- ・うんちくやひみつ紹介（多治見市の）
- ・営業力を上げる
- ・新しい（??）特徴を創造する
- ・観光大使の方に発信してもらう
- ・遺跡多い（古墳時代）
- ・YOUTUBER、インフルエンサーを誘致する
- ・（多治見市に関係する）有名人とつながりをもつ（フォロー） 引用してもらう
- ・クリエイターズファイルのように最後にクイズ（名所紹介）
- ・あえてじぎゃくネタ
- ・隠れたルートを紹介する
- ・市民のグルメレポート
- ・グルメ

D グループで出た意見(付箋)

- ・SNS知らない人が90%近い（社協活力計画）
- ・ケイタイがあまり好きじゃなくて仕事以外持っていない

- ・発信は誰がするのか
- ・SNSを発信したいがやり方が分からない
- ・位置情報がバレるのがこわい
- ・SNSの安全性を伝えなければならない
- ・第三者がSNSの使い方を教えてほしい
- ・リスクが高そうで使えない
- ・危険なことがある リスク
- ・変な人からおさそい
- ・SNSが全てでない！！不安
- ・デマが出る 信じられない
- ・SNSの安全安心な使い方教えて
- ・SNSの使い方を理解できれば発信も可？
- ・誰でもわかるSNS講座
- ・そもそもなぜSNSなの？と不思議になった
- ・SNSでなくてもネットで十分
- ・発信を何でSNSで決めるのか？他に手段は？
- ・SNSの必要性は感じない
- ・海外とLINE無料
- ・SNSで発信が必要か？LINEでダメか？
- ・LINEはやるけどSNSはやりたくない
- ・読んでるぜんていで話されて嫌
- ・アドバイスがもらえる
- ・独立から脱出
- ・世界中の人とつながる
- ・Xで写真を送る
- ・ききたいことはすぐに話してかいけつしたい
- ・人間が介在しないといけない（フォロー）
- ・自分で作りたい料理のレシピが分かる
- ・QRコードですぐ見れるように
- ・#たじみ いけんでだせる
- ・多治見の良いところをQRコードにまとめて発表
- ・SNSよりQRコードの方が使いやすい
- ・アクセスするとポイントがつくようにする
- ・孫からの写真はうれしい
- ・料理のレパートリー増える
- ・若い人にはSNSがいいかも
- ・通訳アプリすぐつなげる
- ・病院などみんなが集まる場所で流す
- ・友だちができる
- ・自分が思いつかないアイディアを知ることができる
- ・今あることニュース性が速い
- ・災害時のニュース性
- ・体験ができる場所など情報提供
- ・体験ができる場所をつくる
- ・SNS体験型動画アピール
- ・インバウンドにはSNSは良い！
- ・どんな影響があるかわからない（SNS）

E グループで出た意見(付箋)

- ・陶器デザイン アイデア募集
- ・災害時のハック J R x 道 x
- ・駐車場の情報
- ・児童館予定 (イベント)
- ・リアルタイム情報を発信する 駐車場、児童館、病院、市役所 (混雑情報 開催情報)
- ・病院の混み状況
- ・G o t o X X X (高速で行くあそび場)
- ・NEW O P E N の店
- ・子ども用品 ”ここ” に売ってます
- ・子どものあそび場
- ・各校の特徴 いいところ
- ・高校からの情報発信 大賛成! 若い子たちはすごいコトする
- ・今年から大学受験に「I T」科目が追加される 高校生の内申点加点でやらせる!
- ・具体的なテーマを決めた上での情報収集
- ・SNS を作ってどう何を発信したいのかわからない
- ・文字より写真、イラストを多めで外 (企業)
- ・デザイナーをやとう
- ・”誰が見ているか” を定めない
- ・Facebook は年齢層高め向けの発信
- ・フォロワーを増やすとりくみをする
- ・発信する事に対する対価をはらう
- ・リアルタイム配信
- ・学校給食、保育園給食の写真をアップ
- ・写真をことこまやかにとって発信
- ・予約があるもの 埋まり具合をその都度分かりやすく
- ・#多治見 #たじみ #t a j i m i
- ・SNS を使ったコンクール
- ・定量的に淡々と続けて出す
- ・良いデザインで文字数少なめで出す
- ・文字より写真、イラストを多めで外 (企業)
- ・デザイナーをやとう
- ・見えずらい部分 (行き方、駐車場こみぐあい) を発信
- ・なんでも発信する!
- ・学生で若い考えの人をまきこんで内容を考える
- ・うながっぱをしっかり使う
- ・今日のうながっぱ
- ・整地めぐりっぽいアプローチ
- ・ラッピングカーをつくる SNS で発信しながら多治見アピール!
- ・スポンサー
- ・ハッシュタグをたくさんつける
- ・物量で攻める
- ・市民あてのSNS の充実
- ・SNS でだれに情報提供したい?

・うながっぱデザインのマンホール作って観光客を呼び込む

・ZOOM会議

討議テーマ3 多治見市の既存の SNS を通じて市民同士や市と市民の繋がりを深めたいと考えています。どのように SNS を活用したらよいですか?

A グループのまとめ意見

1. QR コード等を利用し、入口をわかりやすくする (15)
2. 情報交換の場としての機能を強化する (6)
3. SNS 登録者数を爆発的に増やす (3)

残したい意見

- ・広報課の人員を増やして広く意見を受け入れてほしい「孫習う SNS 教室」の開催 (3)

B グループのまとめ意見

1. グループでつながるネットワーク (帰宅困難者、子育て支援) (8)
2. イベントで参加者がつながるネットワーク、ごみ拾い (6)
3. 市民がみずからタイムリーに発信できる場所を SNS で提供 (ケイジ板、危険情報、工事情報) (5)

残したい意見

- ・SNS が使えない人へのハイリヨをしてほしい (使えない人への指導を検討) (4)

C グループのまとめ意見

1. 様々なイベントを通して双方向のやりとりを活性化させていく (6)
2. 動画を活用して“人”を魅せていく (4)
3. コンパクトな情報を繰り返し伝えて“モノ”を魅せていく (1)

残したい意見

- ・リアルタイムのライフハック (1)

D グループのまとめ意見

1. まとまった情報を受け取れる場所への誘導方法として、公共機関 (駅、病院など) への QR コード設置でユーザーを増やす (7)
2. 病院の待ち時間など、必ずしも人間が作らなくても良いものはシステム化 AI を作ってコンテンツを自動生成する (14)
3. 人に魅力的なことを発信するために、プロのデザイナーやクリエイターによる良質なコンテンツ制作が不可欠 (1)

残したい意見

- ・媒体は SNS に限らなくても良い (5)

E グループのまとめ意見

1. SNS（公式）に市民のコメントを入れられるようにする&市（市長）が市民の SNS にコメントを入れる市長自ら発信する（13）
2. 広報担当の職員を増やすべき（7）
3. 既存 SNS や LINE を使って生活情報を発信するタイプ別の SNS リストがあるとよい（3）

残したい意見

- ・ AI うながっぱと会話（ポスターペタ貼りではなく）必要な情報のみ配信する（8）

F グループのまとめ意見

1. AI たかゆき（AI 市長）政策発信（14）
2. うながっぱ自動 AI チャット（LINE）（8）
3. 市が主催する SNS を通じたオフ会（7）

残したい意見

- ・ SNS で発信したことを紙媒体で配布、掲載（2）

A グループで出た意見（付箋）

- ・ 本当に必要な人しか登録しない→母数を増やす
- ・ 登録してもらうイベントを行う
- ・ 登録方法を説明する動画がある
- ・ 教室 本当にわからないから来る→うちでわからん→身内から近い人から教えてほしい
- ・ 孫をつれて教室に行く→内容を伝えてあげる
- ・ SNS が紙の補助から紙が補助になるように
- ・ 情報がリアルタイムになる
- ・ デジタルサイネージ 市民の目につく場所に発信する
- ・ HP や紙などに入口をつくる（QR コードなど）←わかりやすくする
- ・ 入口をわかりやすく広くする
- ・ イベントの日記など投稿してもらえるようにする
- ・ #でテーマを決めて参加型の情報収集の場をつくる
- ・ 主婦同士、子供同士 コミュニティごとの交流の場
- ・ 広報課の人員を増やして SNS の管理などやってもらいたい
- ・ 意見を広く受け入れて適切に対応する
- ・ SNS に投稿するとメリットがあると◎

B グループで出た意見（付箋）

- ・ 現場発信のしくみ
- ・ 天候の変化 危険地区を早く知らせる
- ・ マイナス面の情報（工事等）を発信する
- ・ 帰れる情報共有 あいのり TAXI
- ・ 子育て支援で休校のときのお助けマッチング
- ・ 町内会つなげる
- ・ 各町内でグループラインでつながる
- ・ 知ってもらうきっかけ重要

- ・ タイムリーな情報発信 提供
- ・ ポイント制
- ・ 多治見市の SNS を分ってもらう
- ・ 理解しても活用方法がない
- ・ SNS 利用しない人をおいていかない
- ・ スポンサーの活用
- ・ いかにか若い人に拡散してもらうか
- ・ 企業の人の協力も得る
- ・ ネットワークをつくる
- ・ リポストキャンペーン
- ・ 空家 貸家 情報
- ・ SNS が使えない人へハイリョ
- ・ やりたい事の場所を公開
- ・ ごみ拾いイベントを SNS で出す

C グループで出た意見（付箋）

- ・ 市民の紹介、団体、スポーツ、福祉など
- ・ 市⇄市民 SNS だから顔が見えると GOOD
- ・ 市⇄市民 本日のうながっぱ
- ・ 市⇄市民 穴場 SHOP ニッチな店 サポート
- ・ 市民⇄市民 多治見と言ったら“この人”紹介
- ・ 市民⇄市民 出会えるカフェ 子育て世代
- ・ 市民⇄市 市民口コミ載せる
- ・ 市民⇄市民 NEW OPEN のお店情報
- ・ お店の紹介 趣味のお店
- ・ お店の紹介 職員のランチ（市内）
- ・ スポットの紹介 いってみた やって見た
- ・ 市民⇄市 子育て用品の売ってる場所 学童用品
- ・ 市⇄市民 JR 道 ハック どうやって帰る！？
- ・ 反応する公式 コメントが返ってくる（たまに失敗する）
- ・ 市民⇄市民 新しい陶器 デザインも求む！！
- ・ 市民⇄市民 学校紹介 強み 特徴
- ・ SNS を通じてオフ会
- ・ 双方向のやりとり 質問 回答
- ・ 投票アンケート
- ・ 市⇄市民 フォトコン+α カレンダー グッズ

D グループで出た意見（付箋）

- ・ SNS は使える年令の問題はないのか？
- ・ 情報発信する動きによってツールがかわってくる
- ・ SNS の活用するための SNS 講座を開設したら？
- ・ SNS でなければ広報誌だけで充分！
- ・ 物（かみ）はあった方が見る
- ・ メールだとみるだろうか？
- ・ 市民討ぎ会が市民同士だけの意見交かんの場では 多治見の発展にならない！外への発信不可
- ・ ①②はどこへ行った？③のテーマはおかしい？

・せっかく多治見のみりよくを話し合ったのに全国に発信するなら SNS でもいい！ex)観光・企業誘ち
・市民が運営している「市民会議」の輪を広げる為の SNS は有効

- ・ SNS で、だれにむかって何を発信したいか？
- ・今回は広報への提言！
- ・JR かいさつ口
- ・マップ情報提供 QR
- ・タップできる
- ・多数の通信媒体を活用
- ・広報はほとんど見ないので、SNS で情報が届くと助かる
- ・今ある SNS の内容を知らない。役所・児童センター・公民館・駅・スーパーetc QRコード貼っておく
- ・子供さんがいる方は教育に関する情報をすぐ求めている。年代的にも SNS 専用アプリは有効
- ・多治見市は市民とのつながりをなぜ SNS でやりたいのか？

- ・情報の特性
- ・駅に電子広告
- ・いかにユーザーを増やすか？
- ・デジタルで解決できるものは解決していく
- ・AI を活用していく
- ・病院にデジタルカを入れてほしい
- ・病院 待ち時間、児童館
- ・健康診断・ガン検診 どの病院でいくらでできるか？
- ・知りたいです（詳しく）（人間ドック）
- ・人が作る必要のないコンテンツ
- ・人が作るべきコンテンツ
- ・コンテンツどうする？
- ・市民→市 × 市→市民 × 市民⇄市民 SNS さいてき
- ・市内オフ会への補助をして発信者を増やす
- ・子育てイベント お祭り 駅モール うながっぱ 情報
- ・高校、中学からの情報 OPEN CAMPUS オープンキャンパス

E グループで出た意見（付箋）

- ・市民の SNS にコメントを入れる
- ・SNS（市のもの）にコメントを入れられるようにする
- ・市長や議員さんが個人として市民と SNS でつながる
- ・高木市長のYouTube配信
- ・AI うながっぱ
- ・SNS の存在そのものを知ってもらう（フォロワーを増やす）
- ・市民自身でも発信できるしくみ（or 市公認アカウント）

- ・A2
- ・Line を使って生活情報の発信
- ・LINE に付けして必要な情報をお知らせする
- ・SNS リストを作る（タイプ別）
- ・フォトコンテストを年れい層に分ける
- ・〇〇コンテストを作る（標題など）
- ・子育て情報の交換の場所を作る
- ・困っていること、知りたいことを集めて、知っている人が答える答える場所を作る
- ・Web サイトにて興味ある事を選ぶようにする
- ・市の情報誌の必要なものだけを抜きとったものを配信する（元データが重すぎる）
- ・HP から見たい情報だけを見られるようなくふう
- ・駅出てすぐに大きな QR コードを貼る（かんこう）
- ・市長がサッカーしている動画をアップ（話題性）

F グループで出た意見（付箋）

- ・海外の人にも観てもらい、来てほしい
- ・SND 活用
- ・SNS のストーリーズの質問箱機能かアンケート機能を使う
- ・AI たかゆきで政策発信（AI 市長）
- ・ライブ配信
- ・市が主催のオフ会（市民オフ会）
- ・親世代で SNS 使用していない人が、子供とか孫から SNS を活用する
- ・うながっぱチャット（LINE）
- ・自動 AI チャット
- ・LINE が入りやすい
- ・VTuber うながっぱ作る
- ・ラジオ（岐阜 FM）をとかを使用
- ・おりべネットワークを使う
- ・駅等にポスターなど記載
- ・さまざまな通信手段を使ってほしい
- ・病院とか待合室に TV があるとところで発信したらどうか？
- ・病院（市民・県民）（個人）資料、ポスター
- ・市が新しく始めた事など情報を SNS と同時に紙でも発信してほしい
- ・市民が市役所に意見や要望を SNS でも言える様にしてほしい
- ・企業等にカタログおく
- ・市のホームページに情報を載せて頂き、それについて意見も言える欄も作ってほしい
- ・高齢者世帯にはチラシを入れる（SNS 発信したこと）
- ・多分 やなせたかしの朝ドラが始まる（ウながっぱ）
- ・市役所でイベントをしてもらう
- ・直接顔を見て話せる場を作ってほしい

- ・スマホ SNS 講座を開いてほしい
- ・ケイタイのキノウの使用品度が少ない
- ・高齢者の方や車をつかえない人にも交流できる場を作
ってほしい

討議テーマ 4 30 年後、どんな多治見だったらよいで すか？

A グループのまとめ意見

1. 子供が川や公園等でのびのび遊べて、親は経済的な不安を感じない。出産から成人（市内に大学を！）までの子育て支援が充実した街（14）
2. うながっぱやアニメなど全国的なイベントで多治見への来訪者を増やして多額の収入を得る※うながっぱパークの設立！！（8）
3. 市民の車社会の意識を変えて IC 利用等、バスの利用性を上げて、公共交通機関の利用により渋滞が解消されている（4）

残したい意見

- ・みんなが知り合いでコミュニケーションにあふれ、障害者に優しく、進化した町内会システムにより公平な負担で文化と伝統が維持される街（7）

B グループのまとめ意見

1. だれもが住みたくなる、くらしやすい街、多国籍、異文化（4）
2. 伝統産業が継続され、活気のある新規起業（起業化）（4）
3. ふるさと多治見！自然豊か、山と川（1）

残したい意見

- ・市民一体になれる日「うながっぱの日」「歩行者天国」「多治見の日」（10）

C グループのまとめ意見

1. 日本ド真ん中、森林活用 多治見テーマパーク！！（7）
2. 都市部との格差なし！テクノロジースマートシティ（6）
3. 日本一 COOL な都市 多治見（2）

残したい意見

- ・地域内循環都市多治見、自由な働き方を応援する都市（7）

D グループのまとめ意見

1. 社長も太鼓判！企業誘致と税制優遇で多治見市を日本一の元気都市へ！（9）
2. 伝統と革新が織りなす世界が憧れる街 TAJIMI（8）
3. 遊びも暮らしも安心安全！笑顔があふれる多治見市

へ（6）

残したい意見

- ・地域を担う人材育成と優れた政治行政を支える人材育成のための高専（8）

E グループのまとめ意見

1. 住みやすい街（子供が遊べる、介護が充実、整備された自然、災害に強い、治安が良い、空き家ゼロ）（8）
2. ペーパーレス化・キャッシュレス化（IT の活用、市民が IT 機器を問題なく使える、市の窓口業務の IT による効率化）（4）
3. 伝統工芸を発展（工芸家の移住推進）（2）

残したい意見

- ・多治見虫が居なくなってほしい（11）

F グループのまとめ意見

1. レトロな街並みを残しながら、魅力が皆に伝わってほしい（9）
2. 陶器産業や工業が発展し、若い人が働きやすい街（若い世帯を増やす）（7）
3. AI・ロボット・ICT を利用した高齢者にも住みやすい街（4）

残したい意見

- ・道の駅をつくる（9）

A グループで出た意見（付箋）

- ・テーマパーク（うながっぱパーク）
- ・みんなが知り合い
- ・コミュニケーションがあふれる街であってほしい
- ・障害の働きやすい環境作りをする
- ・町内会システムの進化
- ・公平な負担により文化と伝統が維持される街
- ・全国から人が集まる大きなイベント
- ・イベントが開催できる場所が多い（バロー文化ホールみたいな）
- ・お金を使う人があそびにきてくれる
- ・若者の集まる街
- ・バス IC つかえるようにする！ こうつうけい IC
- ・バス社会になってほしい
- ・車に乗れなくても便利な街
- ・交通のアクセスがめちゃくちゃ良い！！
- ・じゅうたいがない多治見
- ・誰にでも住みやすい街を目ざすのではなく多治見を積極的に多治見に住みたい人が住む街
- ・最低減の生活基盤が維持されていて、持続のため過大な設備を維持しなくてよい社会
- ・子どもが遊べる場所がたくさんある

- ・川で遊べる街になってほしい！
- ・子育て支援 出産から成人まで
- ・学校給食がタダ！
- ・市内に大学がある
- ・部活の復活！！
- ・出産費 オムツ代ミルク代補助

B グループで出た意見（付箋）

- ・自然豊かな街
- ・クリーンできれいな街といわれる
- ・ゴミ分別らくちに
- ・うなぎがたくとれる川
- ・きれいな川
- ・災害に強い街
- ・しずか いなか
- ・熱くないまち
- ・自然を生かしたイベントで交流
- ・景色のこす
- ・市民が一体になれる 記念日
- ・多国籍の人が自然にらせる町
- ・異文化交流
- ・人と人のコミュニケーションがある
- ・元気な人がいるねといわれる
- ・いつもコンサートフェスタある
- ・老人にやさしい街
- ・長寿のまち
- ・人に優しいまち
- ・子供がたくさんいる町
- ・高齢化 → 労働者減 → 自動運転
- ・暮らしやすいまち
- ・世代交代が正常に進んだ町
- ・どこでもドア
- ・車が空をとんでる
- ・自動的に健康をチェックしてくれる
- ・バリアフリーな
- ・だれもがあいせる
- ・外で夏にたくさんスポーツができる町
- ・居酒屋通りができています
- ・食べ物屋さんがたくさんある町
- ・在宅勤務の深度化 → 平日でも公園に人があふれる
- ・企業化があつまれる
- ・歴史を残す
- ・産業の発展 とうきタイルのさらなる活用
- ・名古屋から会社に移転してくるようなまち
- ・自動運転
- ・企業 研究 土台を。

C グループで出た意見（付箋）

- ・日本一暑いけど涼しい都市 多治見
- ・→キレイな川 泳げる川→プールをたくさん→ミスト
出まくりな快適都市に
- ・車社会の多治見だからこそ！！ 都市部との格差なし
自動運転 産業
- ・都市部との格差なし 自動運転 産業 物流 仕事
テクノロジースマートシティ
- ・森林活用 多治見テーマパーク化！！
- ・モータースポーツ、森林がテーマの特大レジャー施設、
森の遊び場
- ・自由な働き方を応援する都市 多治見
- ・ノマドワーカー増加 リモートワーカー増加 子育て
と両立
- ・知名度 100%に！！ 地域内循環型都市多治見！！
- ・地産地消 地元完結 人材流出を防ぐ 高い教育、魅
力的な企業 子育て環境
- ・リモート環境が充実した都市
- ・自然をいかした住みやすいスマートシティ
- ・モータースポーツがさかん（ラリージャパン）
- ・暑いけど涼しい都市→川 プール 自然 水が近い
- ・日本一幸せな都市 多治見 国
- ・→地方分権 循環 →多治見ですべて完結！！
- ・特大レジャー施設 OPEN
- ・ドローン自動運転 テクノロジー都市
- ・どこにでも気軽に行ける街 交通
- ・みんなに知られる街！！ 知名度 UP！
- ・チャレンジャーが住む街 →ベーシックインカム
- ・教育都市 多治見
- ・移動が便利な町
- ・モノ 産業 都市部との格差なし 感じない

D グループで出た意見（付箋）

- ・伝統文化も風習を残したままの街であって欲しい
- ・美濃焼残ってほしい
- ・町としてのブランド化
- ・採用で強い町に（企業がよろこぶ）
- ・最高気温でも何でもいので知名度 UP してほしい
- ・知名度の連鎖性
- ・シリコンバレーのような街としてのアピール 知名度
のある大きな強み
- ・多治見での学生育成 → 著名
- ・何でもいから日本一があると良い
- ・インバウンドの旅行者を含め年間 50 万人～位の観光
客が増えたら良い
- ・うながっぱのくまもん化
- ・水族館
- ・遊べる場所が欲しい
- ・ラウンドワン ユニバ ディズニー

- ・学生が楽しめる街になって欲しい！
- ・デリバリーやネットスーパーが利用できるようにしてほしい
- ・バローに期待！ネットスーパー強化 配達範囲拡大
- ・治安が良いこと
- ・孫が安心して一人で登校できていること
- ・今のあたりまえをいかに守っていくか
- ・高齢ドライバーが多いため、高齢者の足を確保してほしい
- ・マイカーのいない町づくり 高齢ドライバー はいしするために公共のりものの充実
- ・会社に行かなくても、生活できる技術的な環境になって欲しい
- ・人生 100 年時代になる 再生医療が普及している街
- ・OKA（沖縄）のようなモノレールで市内を往復できるような交通手段の新設
- ・自動運転 実証実験を積極的に
- ・TOYOTA に期待！！
- ・多治見市自前の高専を作る！ = 企業とタッグ
- ・市役所の従業員を育てる学校
- ・学校から公務員へ行きやすい
- ・都市買収条例の緩和 → 先進
- ・医療費軽減（今は中学生まで無料）高校生以上も OK に
- ・宇宙旅行を支援できる新しい企業の創設
- ・定年後（60 歳）働かなくても生きていけるように
- ・平均年収で家が建てられるぐらいの地代・税金
- ・ビジネスがたくさん立ち上がる
- ・外からじゃなくて内から
- ・税金が多治見に落ちる企業の誘致を！雇用が増やせる
- ・社長に好かれる多治見
- ・幸せな市 = 税収を増やす
- ・工場うち 企業うち
- ・多治見は災害が少ない 工場、住宅を建てるには最適
- ・優秀な子供たちに多治見で働けるように
- ・プラント工場 EX) 野菜 半どうたい工場
- ・高速がとても便利なので工場に向いてる 日本の中心
- ・TOYOTA サービスセンターのおかげで、豊田岡崎から会社移って来てる！もっと呼んで！
- ・ふるさと納税の魅力向上

E グループで出た意見（付箋）

- ・介護が充実してほしい
- ・治安が良いままであってほしい
- ・子供世代が住み続けたいと思う街
- ・子どもが里帰りしようかなと思う環境があってほしい
- ・産院の整備（数、環境）
- ・移住者を増やす

- ・陶芸家の移住を推進する
- ・若年層の意見を聞く
- ・遠方へ一瞬で行ける設備があってほしい
- ・暑くない多治見であってほしい
- ・多治見虫が居なくなってほしい
- ・緑、水を今よりキレイに
- ・空家 0
- ・街並みを残したい
- ・自然や景色の良い街
- ・子どもが住みつづけたらもどりたくなる街
- ・もの作り（陶芸）する人が集まる街
- ・伝統工芸を活性化
- ・徒歩圏内 全て生活できる
- ・災害に強い街
- ・水害がない土地
- ・インターネット上だけのつながりでなく、実際顔をつきあわせたつながりも大事
- ・市民が IT 機器を問題なく使えるようになってほしい
- ・市の窓口業務を IT をつかって効率よく
- ・SDG s ペーパーレス キャッシュレス
- ・ペーパーレス化

F グループで出た意見（付箋）

- ・陶器製造がもっと栄えてほしい
- ・企業がもっと増える
- ・打倒！波佐見焼！
- ・工業が盛んに
- ・多治見あられが続いている
- ・辛口のたじみそやきそばの開発
- ・有名なフルーツができる
- ・うなぎの養シヨク
- ・多治見の農産物を増やす
- ・トウキマツリ 30 年後もつづく
- ・駅裏で高頻度で陶器まつり（箱物でも可）
- ・三輪自転車大会の復活
- ・土岐川いかだ下り復活
- ・若い人が働ける企業ユウ致
- ・税金が無くなる
- ・若い子が増えている
- ・市民税安くなる
- ・涼しくなれ
- ・自然と調和した街づくり
- ・メダカの用水路復活（太平町）
- ・田畑を増やす
- ・温水プールを作ってほしい
- ・中心部につりぼり
- ・道の駅つくる
- ・映画館の復活

- ・ファミリーショッピングモール
- ・おりべストリートの魅力のふきゅう
- ・シャッター通りが無くなる
- ・遊郭跡の魅力が伝わる
- ・たいはいてきな魅力発信
- ・多治見のアニメ新作がいっぱいある
- ・ウーバーイーツとかくするように
- ・車がなくてもスーパー病院など行きたい所に不便なく

行ける

- ・市民病院が立体駐車場になる
- ・名古屋に半分の時間で行ける
- ・バスの普及
- ・ロボットに介護してもらいたい
- ・各家庭に宅配ボックス
- ・動く歩道化 駅前あたりから～
- ・多治見に空港
- ・国長橋の 248 号線の渋滞解消
- ・AI タクシー
- ・自転車ステーション増える
- ・名鉄延伸
- ・災害に強い街（ゲリラ豪雨に負けない）
- ・幹線道路もう 1 本増やす
- ・高齢者にとって住みやすい街 （相談できる人がいる
助けてくれる人がいる etc)
- ・土岐に勝つ！
- ・AI が発達しても働く場所がある
- ・市民マッチングアプリ

資料 2. アンケート結果

参加者全員にアンケートへの回答をお願いし、以下のような結果を得た。

No.	設問	集計	割合	
問1	参加動機についてお聞かせください。			
	1	テーマに関心があった	9	23.1%
	2	新しい市民参加だ	11	28.2%
	3	無作為抽出で選ばれた	13	33.3%
	4	その他	6	15.4%
問2	市民の声を行政に伝える手段として適していると思いますか。			
	1	適している	20	66.7%
	2	わからない	9	30.0%
	3	適していない	1	3.3%
	4	その他	0	0.0%
問3	討論の集まりに参加したことがありますか。			
	1	ある	15	50.0%
	2	ない	15	50.0%
問4	市民参加の企画に参加したいと思いますか。			
	1	参加したい	7	25.9%
	2	都合が合えば参加したい	20	74.1%
	3	参加したくない	0	0.0%
問5	具体的な感想をお聞かせください。			
	1	参画意識が持てた	12	29.3%
	2	市民も積極的に行動すべきと思った	17	41.5%
	3	行政に関心が持てた	8	19.5%
	4	特に変化は無かった	4	9.8%
問6	謝礼についてどのように感じますか？			
	1	あったほうが良い	23	76.7%
	2	無いほうが良い	1	3.3%
	3	その他	6	20.0%
問8	スタッフとして参加してみたいと思いますか？			
	1	参加してみたい	3	10.3%
	2	参加したくない	5	17.2%
	3	わからない	21	72.4%